

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 086	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 湘南ゴールドの12月・1月収穫の品質と常温貯蔵法について	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 湘南ゴールドでは現在、3月以降の収穫で、貯蔵、出荷されている。成熟期に近づくほど果実の貯蔵性は低下する。とくに3月20日以降の貯蔵温度の上昇(庫内で15℃以上)によって、腐敗、す上がり、さび病果の発生は多くなる。常温での5月までの貯蔵を可能とし、しかも樹上での低温の被害を解決する方法の一つとしても、12月・1月の早期収穫の常温貯蔵法について検討してもらいたい。 また、その品質についても併せて検討願いたい。	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	従来の常温貯蔵庫の利用のためにも根府川分室での実施が望まれる。

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	足柄地区事務所
対応区分	実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可 <input type="checkbox"/>		
試験研究課題名 (、、の場合)	湘南ゴールドの栽培技術の確立		
対応の内容等	ご指摘頂いた要望課題については、上記課題の中で、収穫時期の違い及び貯蔵時の被覆資材の違いについて検討中です。 なお、12月収穫については、湘南ゴールドの果実品質の重要なファクターである糖度が、これまでの調査では12月では11%程度と低く、貯蔵による上昇も見られないことから、露地栽培では非常に難しいかと考えられます。		
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			